

第1 平成24年度予算編成について

現在の我が国の景気は、東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況にある中で、緩やかに持ち直しており、先行きについても、緩やかな持ち直しが続くことが期待されるが、ヨーロッパの政府債務危機等の影響による海外景気の下ぶれが、我が国の景気を押し下げるリスクがある。

こうした経済情勢の下での県税収入は、企業の通期業績予想等を踏まえ、ほぼ横ばいにとどまる一方、医療・介護などの扶助費や公債費が確実に増加しており、依然として厳しい財政運営を強いられている。

このため、2か年にわたる財源調整により、財源の確保を図ることにした。具体的には、平成23年度の減債基金の取崩額の一部を取り止め、平成24年度に再度活用するとともに、財政調整基金等の目一杯取り崩すなど最大限の財源確保を行ったところである。

その上で、なお残る収支不足を解消するため、臨時的・緊急避難的措置として、基金からの繰入運用を行うとともに、職員の給与抑制を行わざるを得なかった。

このように、厳しい財政状況の下での予算編成であるが、産業空洞化対策や地震防災対策などの緊急的な課題は、ゆるがせにできない。併せて、環境対策など本県の持続的な発展を確実なものとしていくという視点にも意を用いることとした。

そこで、以下の「7つの柱」の施策を重点に、「愛知が元気を取り戻し、日本を牽引する」ことを念頭におきながら、予算編成を行ったところである。

- (1) 元気な経済・産業・地域づくり
- (2) 安全で災害に強い地域づくり
- (3) 環境首都あいちづくり
- (4) 安心できる健康・医療・福祉社会づくり
- (5) 教育・文化立県あいちづくり
- (6) 地域の潜在力を引き出す社会基盤づくり
- (7) 自立・分権・協働の行財政体制づくり